

次期の業績見通し / 中長期的経営戦略

PROSPECT OF THE NEXT TERM / MEDIUM-TERM MANAGEMENT STRATEGY

1

次期の業績見通し

当グループは、自社の持つ小型・軽量・薄型・省電力といったコア技術を活用し、引き続き戦略事業の強化を推進します。

デジタルカメラは、有効画素数1,010万画素と一眼レフカメラに迫る高精細画像に2.8型高輝度ワイド液晶を搭載したハイエンドモデルを中心に、スタイリッシュジャンルのラインアップの拡充を図り、国内はもとより今後成長が見込まれる海外市場での拡大を強力に推進します。

電波ソーラー時計は、「OCEANUS」ブランドの強化により男性・女性向けの中価格帯以上のラインアップを拡充しアナログ市場におけるシェア拡大を図ります。これにより当グループ時計事業における電波・ソーラー製品の比率を向上させ、さらなる収益力の向上を図ります。

電子辞書は、国内学生市場を中心に需要が堅調に推移していくと予測されます。さらに韓国、ドイツ、スペイン語圏をはじめとした海外市場のシェアを向上させ、世界の教育市場におけるトップブランドを目指します。

携帯電話は、本格化する第三代携帯電話へのシフトの中、開発合併会社の強みを活かし、今後の技術革新に対応した競争力ある商品により国内au向けトップシェアを維持します。さらに海外市場展開を一段強化、売上と利益の拡大を目指します。また共通プラットフォームの構築などにより、開発におけるコストとスピードの改善による収益力の向上を目指します。

TFT液晶は、圧倒的シェアを確保しているデジタルカメラのモニター向けに加え、ポータブルGPSなど新規アプリケーションへの参入、携帯電話向け比率の拡大や台湾・ハンスター社との提携によるキャパシティ確保による収益力の強化に努めます。

2006年度の業績見通し(連結)

売上高	6,200億円 (前期比 + 6.8%)
営業利益	500億円 (前期比 +16.0%)
経常利益	450億円 (前期比 +15.6%)
当期純利益	270億円 (前期比 +13.7%)

2

中長期的経営戦略

継続的な事業の拡大を通じて企業価値の向上を達成するためには、各事業分野においてグローバルなコスト競争力を強化し高収益を確保できる強靱な収益基盤を構築するとともに財務体質の強化を図り、企業の社会的責任(CSR)をこれまで以上に果たすことが重要な課題と考えています。そのため、当グループは以下の施策に全社をあげて推進しています。

1. 収益力の向上 当グループは、既に市場においてトップシェアを確保し、今後大きな追加投資を必要とせず、安定的なキャッシュ・フローの獲得が見込まれる事業を「基盤事業」、マーケットが今後世界的に拡大していくことが見込まれる反面、参入企業数も多く競争が激化している事業を「発展事業」として位置付けています。それぞれの事業特性に応じた事業運営を推進し「基盤事業」で安定的利益を獲得しながら「発展事業」の売上高・営業利益を拡大させ、営業利益率10%を目指します。また、収益力向上施策として、新製品立上げ時点から最適なコストを追求し、原価率の低減を目指しています。

2. 財務体質の強化 当グループは株主資本比率及びD/Eレシオ(有利子負債/株主資本)の改善を強力に推進し、現在は株主資本比率が38.1%、D/Eレシオが0.6倍となりました。今後も引き続き効率的キャッシュ・フロー経営のより一層の徹底を図り、安定的かつ強靱な財務体質への転換を図ります。

3. CSR経営 企業の持続的成長は、地球社会の持続的発展があって初めて成り立つことから、当社はCSR経営に積極的に取り組んでいます。平成16年4月に全社的な専任部署「CSR推進室」を設置。同年12月には社長を委員長とする「CSR委員会」を発足させています。同時に「カシオ創造憲章」の趣旨に沿った「カシオ行動指針」、「カシオ倫理行動規範」により、社員、役員の一ひとりが法規則の遵守、社会秩序の維持、社会への貢献などを理解、実践するよう徹底しています。また昨年8月には「CSR報告書」を発行しました。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ当グループの経営方針にご理解をいただき、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。